

2023 年度全学交換留学(USTEP)派遣候補学生の募集（2024-2025 年期留学秋募集）

経済学部・経済学研究科在籍学生申請方法

経済学部・経済学研究科在籍学生とは学生証番号の上 2 ケタが 07 または 29 の学生です。
2024 年 4 月進学予定者は「経済学部進学予定者への留意事項説明手順」を確認してください

USTEP 募集要項、過去の要項とは異なる部分がありますので、以下注意してください。

<留意事項の説明>

留意事項の説明を受ける場合は UTAS 申請書 1～11 を入力後、一時保存の状態にして、（入力エラーがあると一時保存状態になりません。一時保存が正常に行われたことを確認してください。）経済学部留学生・国際交流担当チームへメールで連絡してください。派遣希望校および時期を変更した場合は、再度留意事項の説明を受けてください。経済学部からの交換留学派遣は協定校において修得した専門科目単位を帰国後に本学部にて単位認定申請をすることが目的です。留学計画によっては申請受付ができませんので余裕をもって留意事項の説明を受けてください。

<所見事項提出方法および期日>

経済学部演習指導教員/経済学研究科論文指導教員に募集要項の URL からダウンロードした指定様式を送付して、作成と以下要領での提出をお願いしてください。

指導教員の先生へ

学生から所見事項の記入をお願いされましたら、ご記入後の PDF 版を 9 月 22 日までにメール添付で

経済学部公式教員アドレスより直接以下へ送付お願いいたします。ご不明な点がございましたら以下送付先までお問い合わせください。

メール件名：全学交換留学所見事項

添付ファイルのみの場合、迷惑メールフォルダーへ自動分類されてしまうため、メール本文に学生氏名等を添えていただけますようお願いいたします。

送付先：経済学研究科等留学生・国際交流担当チーム(GAIA) gaia.e アットマーク gs.mail.u-tokyo.ac.jp

<派遣先での学習・研究計画欄>

希望する協定校ごとに履修科目を調べた上で、具体的に履修予定科目名を記入してください。

本学の代表として本学と協定校の国際交流にどのように貢献できるかも記入してください。

< 留学後の計画・進路欄 >

論文提出予定時期を含めてください。

< 語学能力証明書の提出 >

募集要項には語学能力書類は任意提出と記載されていますが、経済学部/経済学研究科審査委員会における本部への推薦可否審査の際に必要なのでなんらかの語学能力証明書を提出してください。

以下優先順位で経済学部/経済学研究科審査においては有利です。

- ①留学先の定める要件を満たす語学能力証明書
- ②留学先の定める語学基準を満たしているが有効期限が切れている語学能力証明書
- ③留学先の定める語学基準を満たしていない TOEFL iBT/IELTS 公式スコア

ただし、学内選考通過後、本部から協定校へ推薦する 1 か月前までに、留学先の定める要件を満たす語学能力証明書を提出しなければ本学から推薦されないので注意してください。

<UTAS 申請期限> 2023 年 9 月 22 日 17 : 00 厳守

経済学部・経済学研究科の提出期限までに UTAS 派遣システム上へ必要書類をアップロードし、「受付完了」となったことを確認してください。ステータスが「一時保存」の場合は受付できません。

募集サイトに掲載されているチェックリストを利用して、申請内容および書類に不備がないか各自で確認してください。

追記・修正が必要な場合に申請を差し戻す場合がありますので、随時メールを確認し、速やかに対応してください。指定する追加・修正期限までに再申請を完了できない場合は、審査の対象になりません。

< 経済学部・経済学研究科面接審査 > 書類審査通過者のみ 10 月 5(木)/11(水)/13(金)いずれかの 17 : 00-19 : 30

面接日時は審査委員会が決めて 10/4 までにメールで通知します。今回は Zoom で実施します。

< 問い合わせ先 >

経済学研究科等留学生・国際交流担当チーム gaia.e アットマーク gs.mail.u-tokyo.ac.jp 経済学研究科棟 5 階

メール問い合わせの際は、件名に「全学交換留学募集」を含め、氏名と学籍番号を必ず添えること。電話での問い合わせには対応しておりません。現在、留意事項説明はメールでのみ行っています。土日祝日および業務時間外の対応は行っておりません。受付順に順次対応しており、業務の都合によっては即日回答ができない場合があります。